



木下翠雨(山水図) 1927年 紙本着色 六曲一隻屏風 個人蔵 158.4×350.4

鳥取県ミュージアムネットワーク連携事業 共同企画展

木下翠雨の里帰り 同時代を生きた 郷土の日本画家たち

日南町阿毘縁の木下家に生まれた木下翠雨「きのした・すいう／1868-1946」は、大阪に出て南画家の藤田台石に師事した後、鳥取県米子市東八幡に帰郷して、地方画家として活動を続けた日本画家です。

翠雨の作品や資料は少なく、その業績について明らかにされていない部分が多くありますが、1902年、第32回日本美術協会展出品作《秋景山水》が宮内省に買い上げられたほか、明治期の『現在今世名家書画覧』に番付された足跡があります。また、郷土においては、1922年、鳥取市で開催された星溟美術展への出品歴と、地方画家たちが集う画会に参加していたことが確認されています。

この度、翠雨没後75年を迎えるにあたり、米子市美術館で初の回顧展が開催されました。この展覧会により、調査、研究が深まり、明らかとなった翠雨の画業や、米子周辺で発見された作品が初公開されました。

そこで、米子市美術館をはじめとする鳥取県ミュージアムネットワークの加盟館による共同企画展として、翠雨の生まれ故郷である日南町の美術館にその作品を里帰りさせるとともに、同時代を生きた鳥取県の日本画壇の一端を紹介する展覧会を開催します。



木下 翠雨



大島松谷(秋溪掃樵図) 1911年 絹本着色 鳥取県立博物館蔵



藤田台石(高士図) 1913年 紙本着色 米子市美術館蔵

関連イベント

ギャラリートーク
日時/9月11日(土) 午後2時～3時
 ※申込不要 ※入場料が必要

【ご来館されるお客様へ】

- 次のいずれかに該当する方は入館をご遠慮ください。
 - ・ 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴がある方。
 - ・ 風邪のような症状がある、発熱や悪寒がある、倦怠感や息苦しさがあるなど、体調のすぐれない方。
- 入館にあたって非接触型体温計による検温を実施しております。37.5℃以上のお客様は入館をご遠慮ください。
- 緊急連絡先のご記入にご協力ください。
- ご自身で当館への来館日時の記録をお願いします。
- 入館時、手指消毒にご協力ください。
- マスクの着用、また、飛沫拡散防止のため館内での会話は最小限にお願いします。
- 団体鑑賞をご希望の際は、事前に当館へご連絡ください。

日南町美術館

日南町役場横の「日南町総合文化センター」内の美術館。図書館を併設しています。

〒689-5212 鳥取県日野郡日南町霞785番地

TEL 0859-77-1113

FAX 0859-77-1115

【HP】 <http://culture.town.nichinan.tottori.jp/>

【Email】 s1052@town.nichinan.lg.jp



【電車】 JR伯備線生山駅下車2.5km。徒歩30分。タクシーまたは町営バスで「日南中学校前」下車、歩いてすぐ。
 【車】 米子市内から国道180号または181号線で広島庄原方向へ。最寄りの江府ICから車で35分。